



Beanstalk Snow

# リフレケア通信 141号

2021年5月 雪印ビーンスターク株式会社  
ライフサイエンス事業部 発行

十二支の意味⑤辰(たつ)は龍・ドラゴンです。十二支の中では唯一空想上の生き物で、東洋では龍は生活に密接なモチーフです。中国では古代から龍は権力の象徴とされており、日本もその影響を受け、辰は「権力」という意味合いを持っています。

シリーズ第23弾〜3  
口腔ケア最前線

## ～松寿園での多職種連携～ 「特養施設の作業療法士」としての役割

社会福祉法人 松寿園  
作業療法士  
川端 良明 先生

作業療法の「作業」とは、何でしょうか。これは他の職種の方から必ず聞かれる質問です。そして、一言では答えられない難しい問いでもあります。「作業」は英語のoccupyを日本語に当てはめたもので、「ひとの暮らしの中で必要なこと、大切なこと」と表せます。特養の作業療法士は、対象者ひとり一人が持つ目的や価値のある生活行為＝作業 に焦点を当て、健康と幸福を促進させるために、個別機能訓練の実施、他職種への支援、環境の調整などを行っています。

先日、ある看取り期の利用者の居室にお邪魔しました。「職員に話す、訴えかけること」がこの利用者にとって価値のある生活行為であり、私はこの点を意識して関わってきました。私が顔を見せると、本人から「口がカラカラです」と消え入るような声で訴えがありました。そこで偶然近くにいた歯科衛生士に相談し口腔ケア用ジェルを使用すると、本人から「ありがとう。よくなりました」と返事がありました。そして、歯科衛生士は「これでしゃべれるようになりましたね。」と声をかけたのです、「口の中がうるおいましたね」だけではなく、私はこの一連のやり取りがとても印象的でした。

口が渴いているから湿らせるというような決まり切ったケアでは利用者の生活に寄り添っているとは言えません。「舌を円滑に動かしてしゃべりたい」「リンゴジュースが飲みたい」など、作業療法士が利用者とは他職種の間に入り利用者の価値観や訴えの背景を利用者に代わって語ることで、オーダーメイドのケアをより深化させることができるのではないのでしょうか。

「心身機能や周囲の環境を改善させると、利用者の活動や暮らしがどうなるのか。」これが私たち作業療法士の視点であり、利用者の生活行為＝作業 への支援に直結するポイントです。しかし特養の作業療法士の配置は少人数であることがほとんどで、直接的な介入には限界があります。先ほどの歯科衛生士のように、私が何も助言しなくても利用者の生活行為までみることが出来る「プチ作業療法士」を増やしていくことも、作業療法士の大切な役割であると考えています。



川端先生、ありがとうございました。3回に渡り「松寿園」のそれぞれの職種の先生方にお話を伺いました。ありがとうございました！



## 「大人のDHA&EPA」でお悩み解消

先月に続き、コロナ禍で在宅ワーク、あまり動かなかったり、外出自粛で休みの日も出かけず、家でゴロゴロ過ごして気付いたら体重増加(汗)! そんな方にオススメなのが機能性表示食品の「大人のDHA&EPA」です。DHA・EPAには中性脂肪を低下させる機能が報告されています。更に、DHAには「物忘れが増えた」「あの人誰だっけ? 名前が出てこない・・・」など物忘れが増えた気がする方にもオススメです。水で飲む小さめタイプのソフトカプセルで、気軽にお飲みいただけます。中性脂肪が気になりました...、物忘れが気になりました...、当てはまる方はぜひお試しください。



## ぷち★まめ知識

5月の第2日曜日は「母の日」です。アメリカで「南北戦争」の最中、負傷兵の救護や衛生管理を行うため「母の仕事の日」という名前で敵味方を問わず地域の女性たちを束ねた女性活動家がありました。その方の死後、日曜学校の教師をしていた教会で娘が記念会を開催。その時に母が好きだった白いカーネーションを祭壇に掲げたと言われています。このことがアメリカ全土に広まり、当時の大統領が5月の第2日曜日を「母の日」と制定、国民の祝日になりました。

亡くなった母へ送ったのが白いカーネーションだったことから、世界している場合は白、健在であれば赤のカーネーションを胸に飾るようになったそうです。日本では明治末期から大正にかけて広まったと言われています。

また、6月の第3日曜日は父の日ですが、父の日も発祥はアメリカです。妻の死後、男手ひとつで6人の子供を育てた父親がいました。全員成人するのを見届けた後、亡くなったそうです。娘は父の誕生月であった6月に教会で礼拝を行ってもらいました。この時すでに母の日があったので、父の日の制定を懇願。当時の大統領が教会を訪れ演説をしたことから、父の日が広がりを見せ、アメリカ全土に知られるようになりました。そして1972年に正式な祝日となりました。

娘が父の墓前に白いバラを供えたことから、父の日の花はバラになり、母の日と同様、世界している場合は白、健在である場合は赤を身につけるようになったそうです。日本では1950年頃から広まり、一般的な行事になったのは1980年代と言われています。

コロナ禍でご両親になかなか会えない、お墓参りに行けない...。そんな時は「オンライン」で里帰りしたり、お墓参りをするのもいいかもしれませんね♪

